

シートの表示倍率を自在に変更する

画面を拡大 縮小させて、表の内容を確認したいことがある。表示倍率を変えるには、マウスのホイールを使うのが手っ取り早い。

「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前に回転すると、段階的に表示倍率を縮小できる。最小で 10%まで縮小可能だ。逆に「Ctrl」キーを押しながらホイールを向こう側に回すと、画面を最大 400%まで拡大できる。

縮小 (最小 10%まで)

Ctrl + ホイール回転 (手前)

	佐藤	鈴木	田中	山本	長谷川
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

Ctrl + ホイール回転

一方の手で「Ctrl」キーを押しながら、もう一方でマウスのホイールを回転させると、シートを拡大 縮小できる。

拡大 (最大 400%まで)

Ctrl + ホイール回転 (向こう側)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1			伊藤		佐藤		鈴木	
2	F	日	訪問先	時間	訪問先	時間	訪問先	時間
3	1	木						
4	2	金						
5	3	土						
6	4	日						
7	5	月						
8	6	火						
9	7	水						
10	8	木						
11	9	金						
12	10	土						
13	11	日						
14	12	月						

ホイールを手前に回すと縮小、向こう側に回すと拡大になる。

ホイール = マウスの 2 つのボタンの間に取付けられた、コイン大の回転可能な円盤のこと。

従来の操作では、あるウィンドウをスクロールする場合、いちいちスクロールバーまでマウスポインタを移動して、ボタンを押したままバーを上下(左右)させる必要があった。ホイールを使うと、マウスを動かしたりボタンを押すことなく、そのままの位置でスクロールができるので操作性が向上する。